

みんなが楽しむあいご会

楽しんでんこもり

鹿児島市あいご会連合会のスローガンです。昨年度から今年度にかけて、子どもたちがいろんな活動を体験して大いに楽しんでいました。楽しむことが一番です。



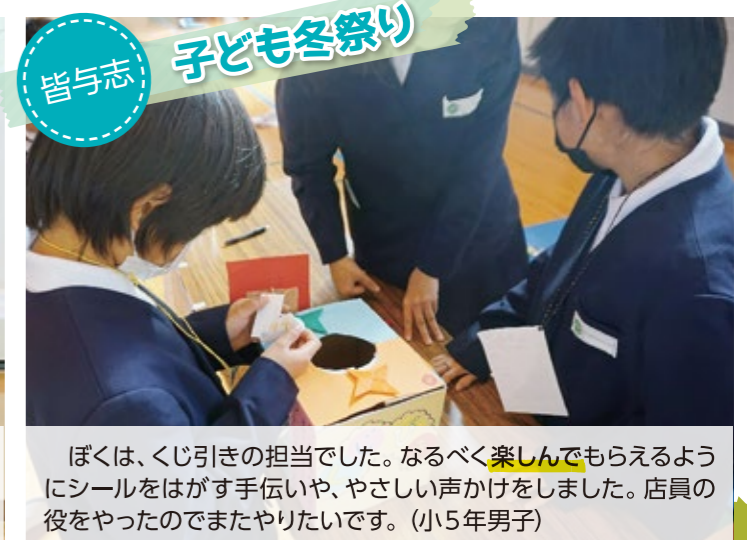
とうげいをするのは、はじめてでした。とても楽しかったです。かたをとってつけるのがおもしろかった。また、来年もしたいです。(小3年女子)



火おこしや川遊びなど普段体験できないことができ、子どもたちは大変楽しそうでした。高学年の子が率先して下の子のめんどうをみてくれました。(育成者)



本物のマジックを観たことがない子が、ほぼ全員で「オー」とか「すごい」と感激しながら楽しんでいました。子どもたちに本物に触れる機会は感動を与え、よい刺激になったと思う。(育成者)



ぼくは、くじ引きの担当でした。なるべく楽しんでもらえるようにシールをはがす手伝いや、やさしい声かけをしました。店員の役をやったのでまたやりたいです。(小5年男子)

あいご会宣言

- ① 子どもの幸せを願うのは、自然の親心である。
- ② 隣近所仲よく助け合うのは、市民生活の根本である。
- ③ 次代になう子どもたちを健全に育てるのは、市民の連帯責任である。

あいご会とは

- ① 鹿児島市に住んでいる全市民がすすんで協力し、心身ともに健全な子どもを育てる組織である。
- ② 子ども会の育成母体である。

市民憲章

わたしたち鹿児島市民は、みんな助け合って、子どもたちの幸福を守りましょう。
(昭和36年5月5日)



ジュニアリーダークラブ「コアラ」

コアラ会長 脇田 慧菜



ジュニアリーダークラブ「コアラ」って何でしょう。「コアラ」は鹿児島市在住の小・中・高校生で構成されているボランティアクラブです。現在31名の会員がおり、さつまっ子育成大会やはたちの集い、赤い羽根共同募金などでお手伝いをしています。

私が「コアラ」に加入したきっかけは、小学校6年生の頃に参加した地域活動でした。その地域活動で「コアラ」のお兄さん、お姉さんが生き生きと受付やレクリエーション指導をしている姿を見て、私もお兄さんやお姉さんのようになりたいと思ったからです。実際に「コアラ」に加入し、今では会長として活動しています。最初は不安なこともありましたが、支えてくれる仲間がいるので大丈夫でした。月1回の定例会では、会員に楽しんでもらうことを第一に考え、企画しています。また、ボランティア活動ではリーダーとして率先して行動できるようにしています。会長になって大変なこともありましたが、地域や鹿児島市に貢献できるようにがんばっていきます。

「コアラ」に興味がある人は、ぜひいっしょに活動してみませんか。新規加入は中学生までです。

問い合わせ先 080-9888-1239

将来が楽しみなさつまっ子

8/28南日本新聞ひろば掲載



七月二十七日に町内会の夏祭りがあった。四年ぶりの開きとあって、ぼくはワクワクした。母があいご会の役員なので、ぼくも準備を手伝った。当日は町内会の役員や各班の班長が協力して、直前まで段取りを進めていた。母はヨーヨーを作る係で、かき氷の担当でもあった。ぼくは夏祭りを成功させるために多くの人がかかわっていることを知った。暑い中、がんばっている人たちはとてもかっこいいと思った。

ぼくはあいご会の子もリーダーなので、ちゅう選のときにステージでクジの番号を引くようにたのまれた。祭りも終わりに近づき、いよいよちゅう選が始まった。たくさんの人が見ている前で、自己紹介をした。自分でもおどろくほど、緊張せず元気な声で言えた。みんなうれしそうにちゅう選に参加してほくもうれしかった。ぼくは一等が当たらなかったけど、一等よりもいい経験ができたと思う。ぼくも大人になったら、町内会の役に立つ活動を進めたいと思います。

町内会活動に将来進んで参加へ

福平小五年 板敷 怜音



あとがき

新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、これまでのようなあいご会活動ができるようになってきました。しかし、あいご会の役員や育成者にとって、この3年間のブランクは大きなものだったようです。特にブロック事業の担当になった校区ではどうやって進めたらいいのか皆目見当がつかず、実施するまで試行錯誤されたと聞きました。

今回のあいご会新聞ではここ3年間実施が思うようにできなかったあいごスポーツ大会を特集しました。他の校区の子もたちとスポーツをとおして交流を深めていたようです。また、スポーツ大会と併せて子ども会大会を行ったところもありました。他のあいご会の活動を知ったり、交流をしたりすることは、子どもたちにとって素晴らしい機会となるようです。

問い合わせ・ご意見送付先

〒892-0816 鹿児島市山下町5-9
鹿児島市あいご会連合会
TEL・FAX 099-226-6604
E-mail aigo@po3.synapse.ne.jp
ホームページ



あいごスポーツ大会の歴史

ここ3年ほど新型コロナウイルス感染症により中止や内容が変更となったあいごスポーツ大会でしたが、ようやく各ブロックで実施されるようになりました。この大会は、昭和41年の第1回愛護ソフトボール大会が起源となっています。今では市内を12ブロックに分けて工夫した競技を行っています。今年も南日本新聞社の後援をいただき、賞状と優勝楯を準備してくださいました。あいごソフトボール大会を振り返るとともに、今年の実施内容を紹介します。

年	事項
昭和41年	第1回愛護ソフトボール大会開催(市教委・南日本新聞社共催) 47チーム出場 宇宿町下愛護会が優勝
昭和52年	ブロック大会(市内6ブロック)、決勝大会開催
昭和61年	第22回大会で吉野校区の帯迫Aが4連覇達成
平成元年	第25回あいごソフトボール記念大会として開催
平成4年	第28回あいごソフトボール大会(50校区840チーム6700名)
平成5年	8・6水害により、ブロック大会のみ開催、決勝大会は中止
平成8年	あいごスポーツ大会と名称を変更してブロック開催(種目変更)
平成10年	南日本あいごスポーツ大会資料作成



あいごソフトで地域一丸

このイベントにより地域のつながりは間違いなく強くなり、活性化していったのだと思います。地域を巻き込んだ理想的なイベントであったあいごソフトボール大会には感慨深いものがあります。これからもあいご会の活躍に期待しています。



あいご会への思い



現在の子育て中の親御さんには、お住まいの地域の町内会やあいご会にぜひ加入してください。そして親子で地域行事に参加することで、喜びと感動を共有していただき、素敵なふるさと作りに協力して下さることを強く願っております。

校区のあいご会長として4年ぶりに校区球技大会を開催でき、久しぶりに真剣モードの眼差しと笑顔を見ることができました。小学校時代を振り返ると、夏はあいごソフトボール大会地区予選のため、毎日泥まみれになって練習していたのを鮮明に覚えています。地区の大人の方が特訓してくれたり冷たい飲み物を出してくれたり、我が子のように応援してくださいました。あいごソフトは地域の親睦や親子の絆、子どもたちの縦横の関係を築く上で大切な行事でした。ソフトボール大会をはじめ、町内会やあいご会の地域行事で学んだことにより健全な子どもが育成できていたように思います。

【中山校区あいご会長 福元義弘】

約42年前、中郡校区ではあいごソフトボール大会が行われていました。その後、町内会チームが市の大会への出場をかけた戦いになります。勝ち抜くと新聞紙上を賑わす鹿児島市あいごソフトボール大会への出場と駆け上がっています。

校区内での対抗戦には4年生以上の男子のほとんどが参加していたのではないのでしょうか。夏休みに鹿大のグラウンドなどで練習を行います。監督やコーチは地区の大人たちで、私たちの監督はかしわ屋のおじちゃんや近所の大学生がしていました。すべてのチームに複数の大人の指導者がいました。選手の保護者はもちろん応援にかけつけますので、多くの人が大会に関わっていました。まさに地域一丸であり、夏休みのビッグイベントとなりました。

【中郡校区あいご会長 寶来良治】

第59回 あいごスポーツ大会

ブロック	競技種目	期日	参加者	結果等
吉田	レクリエーション「雪合戦」	7月16日	60名	優勝(牟礼岡) 2位(本城) 3位(宮)
郡山	フロアカーリング	7月1日	91名	優勝(花尾) 2位(柿園) 3位(郡山麓)
吉野	ドッジボール	7月29日	150名	高学年 優勝(坂元B) 2位(坂元A) 3位(川上) 中学生 優勝(川上C) 2位(坂元) 3位(川上A)
中央	ドッジビー	7月30日	70名	優勝(城南) 2位(山下) 3位(清水)
つばめ	グラウンドゴルフ	9月30日	60人予定	9月予定
鴨池	ポッチャ	8月6日	100名	優勝(中洲) 2位(紫原) 3位(宇宿)
伊敷	グラウンドゴルフ	8月5日	60名	他校区の人と混成チーム編成、順位なし
桜島	フロアカーリング、ポッチャ等	8月5日	66名	1チーム3名の2組でチーム編成、順位なし
松元	ドッジボール(上学年・下学年)	7月15日	150名	上学年 優勝(石谷) 2位(春山) 3位(松元) 下学年 優勝(春山) 2位(石谷) 3位(東昌)
谷山南部	ドッジボール、モルック	7月29日	150名	優勝(福平) 2位(西谷山) 3位(谷山)
谷山北部	ドッジボール	7月29日	160名	優勝(清和) 2位(中山) 3位(星峯東)
喜入	ドッジボール、ドッジビー	9月2日	120名	優勝(もも) 2位(みかん) 3位(めろん)

※ドッジビーは、ソフトディスクを使用するドッジボール形式です。
モルックは、モルックという木製のピンを1~12の数字が書かれたスキットルを倒すゲームです。

スポーツではじける笑顔
汗キラリ

ポッチャという競技をする機会がありません中、このような貴重な経験ができてよかった。おしくも1位はのがしましたが、みんなでがんばり3位をとることができてうれしかった。(宇宿小6年女子)

白山あいご会の活動発表をしました。他の校区の人やたくさんの大人の前で発表するのは初めてでした。何回も発表の練習をしていたのに、緊張してしまい、じょうずに話せなかったけど、白山あいご会のことをみんなにしょうかいできてよかったです。ドッジボールでは他のあいご会の子たちといっしょにチームを組んで参加しました。みんなで協力しあって決勝戦まで進んだので優勝できると思ったけど、あと少しのところまで負けてしまいました。とても良かったです。(中山小6年男子)

他校のみんなとドッジボールを通して交流することができてとてもよかった。(喜入小6年女子)

自分の校区だけでなく、他の校区の人たちともコミュニケーションをとることができたのでとても楽しかった。(本城小児童)

他のあいご会の人と話をすることができて、友だちができたのがうれしかった。(錫山小児童)